

清須市立中学校生徒海外派遣研修事業について

【事業内容】

事業の目的	清須市立中学校の生徒を海外に派遣し、直接肌で諸外国の文化、歴史、生活習慣等を体験させることによって、国際的視野及び見識を深め、国際的感覚を育成することを目的とする。
派遣先	オーストラリアシドニー 8日間
派遣内容	ホームステイ・現地校交流
派遣人数	4中学校合計 24名＋引率教諭 4名＋添乗員 1名
選考方法	英語小テスト＋作文

1. 手数料等の見直し

庁内において実施した「手数料等の現況調査 H30.7」結果により、近隣自治体等と大きな差異等が認められ、手数料等の見直しが必要な事業に、「中学生海外派遣研修費負担金」が対象事業として挙げられました。

2. 県内（54市町村）の中学生海外派遣実施状況調査

- ① 実施（30市、10町村）
- ② 休止または廃止（5市、5町）
 - ・ 予算確保が困難、学校への負担軽減〔2市〕
 - ・ 事業見直し〔3市、3町〕
 - ・ 治安の悪さ〔2町〕
- ③ 従前から実施なし（3市、1町）

3. 中学校生徒海外派遣研修選考委員会の主な意見

（教育長、中学校長 4名）

- ・ 現在、修学旅行相当費用で参加者が世帯の収入に関係なく応募できる状況であるが、増額になれば、参加できない生徒も増えることが考えられる。
- ・ オーストラリアは直行便がないため、安全面が不安。清須市と姉妹都市提携のヘレス市への派遣なら意味があるのでは。
- ・ 教員の引率時の安全面等での精神的負担が大きい。打合せ等含むとかなり時間的な拘束がある。
- ・ 事業効果を考えると、派遣生徒にとっては意義があるが、他の生徒への効果的な還元ができない。また、派遣生徒の3割強の生徒が既に渡航歴があるため、自治体でこの事業を実施する必要がなくなっているのではないか。
- ・ 令和2年度からの小学校3・4年生英語授業の教科化に伴い、英語教育のより充実化を図るため、海外派遣事業に替え、ALT（英語指導助手）等を充実させてほしい。

4. 総合教育会議の主な意見

(市長、教育長、教育委員4名)

- ・海外派遣については、意義のある事業ではあるが、海外でのテロ、事件も多いため、生徒たちの安全を確実に確保できない心配がある。
- ・引率される先生方の精神的な負担も大きいと思われることから、この事業を廃止することは止むを得ないと考える。
- ・小学生3・4年生の英語教科化に向け、今後、更に英語教育の充実を進めて欲しい。

5. 事業見直しの考え方

選考委員会及び総合教育会議のご意見を受け、事務局として次のとおりまとめる。

事務局まとめ

この事業については、

- ・インターネットの普及や国際化による外国人との交流の増加により、事業効果が低くなってきていること。
- ・参加生徒には非常に有意義であるが、全生徒への有効的な事業とならないこと。
- ・生徒への安全面での確保も難しく、教員の精神的な負担も大きいこと。

これらのことから、事業効果を考慮し廃止を提案します。

ただし、国際感覚を養い国際社会を生き抜く人材の育成は、教育委員会として重要な責務であることから、市内小中学校の児童生徒の英語に係る資質や能力を育成する事業に方向転換し、令和2年度からの小学校英語授業の教科化に伴う英語活動を充実する事業展開を図っていきたい。

6. 今後の予定

令和元年11月6日

校長会 事業の方向性の説明、意見聴取

令和元年11月7日

社会教育委員会 事業の方向性の説明、意見聴取

令和元年11月8日

教育委員会委員協議会へ報告、承認

令和元年11月19日

議会全員協議会へ報告

令和元年12月17日

教育委員会定例会 市立中学校生徒海外派遣研修要綱廃止議案の提出

令和2年1月

市立中学1・2年生在籍保護者へ周知